



## 2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2022年10月31日

上場取引所 東

上場会社名 大研医器株式会社

コード番号 7775 URL <https://www.daiken-iki.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山田 圭一

問合せ先責任者 (役職名) 財務経理部長 (氏名) 伊丹 稔和 TEL 0725-30-3574

四半期報告書提出予定日 2022年11月1日 配当支払開始予定日 2022年12月1日

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期第2四半期の業績 (2022年4月1日～2022年9月30日)

#### (1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	4,454	9.0	605	7.0	605	7.0	429	7.3
2022年3月期第2四半期	4,086	8.3	565	25.0	565	15.7	400	14.2

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	14.94	—
2022年3月期第2四半期	13.93	—

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	10,840	6,566	60.4
2022年3月期	10,920	6,446	59.0

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 6,552百万円 2022年3月期 6,438百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	9.00	—	11.00	20.00
2023年3月期	—	9.00	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	11.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2023年3月期の業績予想 (2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,000	5.4	1,200	4.3	1,200	4.1	840	1.1	29.24

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

業績予想の修正については、本日(2022年10月31日)公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料 8 ページ「2. 四半期財務諸表及び主な注記 (4) 四半期財務諸表に関する注記事項 (四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2023年3月期2Q	31,840,000株	2022年3月期	31,840,000株
② 期末自己株式数	2023年3月期2Q	3,111,560株	2022年3月期	3,111,559株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2023年3月期2Q	28,728,441株	2022年3月期2Q	28,728,441株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料 3 ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

四半期決算補足説明資料につきましては、2022年10月31日に当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	6
第2四半期累計期間 .....	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	8
3. 補足情報 .....	8
生産、受注及び販売の実績 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大による停滞状況からワクチン接種の浸透や行動制限の緩和により、社会経済活動の正常化への歩みが着実に進み、概ね回復基調で推移いたしました。しかしながら、日米の金利差拡大を背景とした急激な円安による為替相場の変動や資源・エネルギー価格の高騰等、国内外の経済の不確実性が急速に強まり、先行き不透明な状況が続いております。

また、当社を取り巻く事業環境は、ワクチン接種の普及拡大、医療現場における感染防止策の定着により、回復基調から正常化へ進展してまいりました。

今後も感染防止対策を徹底しながら医療提供体制の確保には最善の努力が継続される中、新たな変異株の出現等により、深刻な医療逼迫の状況が生じる可能性もあることから、依然として先行きは不透明な厳しい状況が続いております。各医療機関の経営環境はより一層厳しさが増してきており、医療現場においてより効率的で効果的な医療サービスを提供できるような製品供給体制が望まれております。

このような状況のもと、当社は、高品質製品の常時安定供給を優先事項と掲げ、医療現場と密着した営業活動の推進、品質を確保しながらもコスト競争力をもった生産体制の構築並びに独創的な製品の研究開発活動の強化に取り組んでまいりました。

当第2四半期累計期間の経営成績の分析は次のとおりであります。

#### ① 売上高

売上高は、4,454百万円(前年同期比9.0%増)となりました。これは主として、主力製品の販売量が引き続き堅調に推移したことに加えて、注入器関連における新製品である「クーデックエイミーPCA」の販売が好調に推移したこと等によるものです。

#### ② 営業利益

営業利益は、605百万円(前年同期比7.0%増)となりました。これは主として、原材料価格等の高騰があったものの、売上高の増加により売上総利益が増加したこと等によるものです。

#### ③ 経常利益

経常利益は、605百万円(前年同期比7.0%増)となりました。これは主として、営業利益が増加したこと等によるものです。

#### ④ 四半期純利益

四半期純利益は、429百万円(前年同期比7.3%増)となりました。これは主として、経常利益が増加したこと等によるものです。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ① 資産

流動資産は、前事業年度末に比べて42百万円減少し、6,529百万円となりました。これは主として、電子記録債権が149百万円、製品が51百万円、原材料が44百万円、仕掛品が13百万円それぞれ増加したものの、現金及び預金が236百万円、受取手形及び売掛金が75百万円それぞれ減少したこと等によるものです。

固定資産は、前事業年度末に比べて38百万円減少し、4,310百万円となりました。これは主として、有形固定資産が34百万円、無形固定資産が3百万円それぞれ減少したこと等によるものです。

#### ② 負債

流動負債は、前事業年度末に比べて5百万円減少し、3,145百万円となりました。これは主として、短期借入金が200百万円、電子記録債務が20百万円それぞれ増加したものの、1年内返済予定の長期借入金が178百万円、未払消費税等(流動負債「その他」)が28百万円、未払法人税等が16百万円それぞれ減少したこと等によるものです。

固定負債は、前事業年度末に比べ195百万円減少し、1,128百万円となりました。これは主として、長期借入金が189百万円減少したこと等によるものです。

#### ③ 純資産

純資産は、前事業年度末に比べて120百万円増加し、6,566百万円となりました。これは主として、利益剰余金が剰余金の配当により316百万円減少したものの、四半期純利益を429百万円計上したこと等によるものです。

④ キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、前事業年度末に比べて236百万円減少し、2,282百万円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローは次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、348百万円(前年同期124百万円減)となりました。これは主として、税引前四半期純利益を604百万円、減価償却費を146百万円それぞれ計上したものの、棚卸資産が109百万円増加し、法人税等を195百万円支出したこと等によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、104百万円(前年同期比30百万円増)となりました。これは主として、有形固定資産の取得により103百万円支出したこと等によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、480百万円(前年同期比278百万円増)となりました。これは主として、短期借入金を200百万円調達したものの、長期借入金の返済に368百万円、配当金の支払いに306百万円それぞれ支出したこと等によるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年3月期決算短信(2022年5月13日公表)に記載いたしました業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日(2022年10月31日)別途公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、業績予想につきましては本資料の発表日において入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2022年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,518,589	2,282,527
受取手形及び売掛金	1,346,167	1,271,060
電子記録債権	1,085,208	1,234,884
製品	973,067	1,024,513
仕掛品	72,279	86,101
原材料	499,189	543,921
その他	78,024	87,072
貸倒引当金	△91	△91
流動資産合計	6,572,435	6,529,990
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,937,619	1,893,120
土地	1,703,670	1,703,670
その他(純額)	478,110	488,476
有形固定資産合計	4,119,400	4,085,267
無形固定資産	15,135	11,898
投資その他の資産		
繰延税金資産	160,449	160,449
その他	78,033	77,149
貸倒引当金	△24,650	△24,650
投資その他の資産合計	213,831	212,948
固定資産合計	4,348,367	4,310,114
資産合計	10,920,803	10,840,104

(単位:千円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2022年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	463,151	463,983
電子記録債務	560,469	581,313
短期借入金	1,000,000	1,200,000
1年内返済予定の長期借入金	597,826	419,578
未払法人税等	212,541	196,077
未払費用	70,899	65,857
その他	246,349	218,568
流動負債合計	3,151,237	3,145,379
固定負債		
長期借入金	1,280,033	1,090,043
その他	43,401	38,316
固定負債合計	1,323,434	1,128,359
負債合計	4,474,671	4,273,738
純資産の部		
株主資本		
資本金	495,875	495,875
資本剰余金	400,875	400,875
利益剰余金	7,368,595	7,481,867
自己株式	△1,826,582	△1,826,582
株主資本合計	6,438,763	6,552,034
新株予約権	7,368	14,331
純資産合計	6,446,131	6,566,365
負債純資産合計	10,920,803	10,840,104

(2) 四半期損益計算書  
(第2四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	4,086,178	4,454,775
売上原価	2,268,555	2,613,071
売上総利益	1,817,622	1,841,703
販売費及び一般管理費	1,252,281	1,236,682
営業利益	565,340	605,021
営業外収益		
受取利息	0	0
受取補償金	867	733
為替差益	213	711
未払配当金除斥益	544	261
雑収入	506	271
営業外収益合計	2,132	1,978
営業外費用		
支払利息	1,962	1,971
その他	146	—
営業外費用合計	2,109	1,971
経常利益	565,364	605,028
特別損失		
固定資産除却損	691	50
特別損失合計	691	50
税引前四半期純利益	564,672	604,978
法人税等	164,408	175,694
四半期純利益	400,264	429,284

## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	564,672	604,978
減価償却費	158,755	146,240
株式報酬費用	—	6,963
売上値引引当金の増減額(△は減少)	△179,346	—
受取利息及び受取配当金	△0	△0
支払利息	1,962	1,971
売上債権の増減額(△は増加)	267,140	△74,569
棚卸資産の増減額(△は増加)	△150,594	△109,998
仕入債務の増減額(△は減少)	3,012	22,697
固定資産除却損	691	50
未収入金の増減額(△は増加)	1,435	△1,430
未払金の増減額(△は減少)	△10,551	△7,742
未払費用の増減額(△は減少)	△111,814	△5,041
未払又は未収消費税等の増減額	33,626	△28,025
その他	△24,856	△10,002
小計	554,132	546,090
利息及び配当金の受取額	0	0
利息の支払額	△2,022	△1,934
法人税等の支払額	△78,865	△195,526
営業活動によるキャッシュ・フロー	473,244	348,629
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△79,375	△103,087
無形固定資産の取得による支出	△344	△1,100
差入保証金の差入による支出	△294	△312
差入保証金の回収による収入	12,845	466
資産除去債務の履行による支出	△6,479	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△73,648	△104,033
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入金の返済による支出	△380,142	△368,238
配当金の支払額	△315,855	△306,762
短期借入金の純増減額(△は減少)	500,000	200,000
リース債務の返済による支出	△6,027	△5,657
自己株式の取得による支出	—	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△202,024	△480,658
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	197,571	△236,061
現金及び現金同等物の期首残高	2,170,643	2,518,589
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,368,214	2,282,527

## (4) 四半期財務諸表に関する注記事項

## (継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

## (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

## (四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

## 税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

## 3. 補足情報

## 生産、受注及び販売の実績

当社の事業は、医療機器等の製造販売及びこれらの付随業務の単一セグメントであるため、生産、受注及び販売の実績につきましては、当社の製品群別に記載しております。

## ① 生産実績

製品群	生産高(千円)	前年同四半期比(%)
吸引器関連	1,642,742	+8.9
注入器関連	702,292	+16.6
電動ポンプ関連	37,880	△22.2
手洗い設備関連	127,489	△2.4
その他	110,508	△8.4
合計	2,620,913	+8.7

(注) 金額は製造原価によっております。

## ② 受注実績

当社は、見込生産を行っているため、該当事項はありません。

## ③ 販売実績

製品群	販売高(千円)	前年同四半期比(%)
吸引器関連	2,852,199	+6.5
注入器関連	1,007,046	+15.3
電動ポンプ関連	90,069	△15.0
手洗い設備関連	289,044	+5.8
その他	216,414	+38.6
合計	4,454,775	+9.0